



### 「久々の家族旅行は長男の読んだ一冊の本から」

読書好きな長男。学校の図書館で「たま駅長」の本を読んだから、「たま駅長」に会いたいと言いつ出した。たまたま手にした一冊の本のことに興味を持ったのだからと、春休みも近かったこともあり、久々の家族旅行を企画。ねこに会うために和歌山へ！？

でも、こんなきっかけでもなければ、たぶん立ち寄ることはなかったかもしれない和歌山。電車の路線や駅の場所、時刻表などを調べ、何本かに1本のラッピング車両に乗り、駅長のいる駅で降りた。その日はたまたま、「たま駅長」は不在で、代わりに2代目の「にたま駅長」ではあったが、本で読んだことを実際に見たり体験したりすることができ、長男はとても満足していた。私たち家族も、長男とその一冊の本のおかげで和歌山の地に降り立ち、ふれあい、縁を結ぶことができた。

### 「目標に向かってともに励む」

1年を通して、運動会、持久走大会など、上の子と下の子が同じ目標に向かって努力する行事がいくつかあります。その行事が近づいてくると、我が家は家族全員で取り組みます。父親と全力で競争してみたり、母親は自転車でマラソンの先導をしたりしています。また、縄跳びも家族全員で競い合っています。

昔、私たちが子どもの頃は、それほど楽しい遊びもなかったので、「ママたちが子どもの頃は、やたら冬は縄跳びばかりやっていて、みんないろいろ跳べるようになったものだよ」と先日話したばかりです。走る、縄跳びする、ボール遊びをする。これらはいつの時代も親子で会話しながら、ふれあいながらできるものなので、これからも大切にしていきたいと思います。

### 子どもたちの未来のために

子どもたちの学力を育むためには、知識や技能はもちろんのこと、学ぶ意欲や自分で課題を見つけ、自ら学び行動する等の資質や能力は欠かせません。それらは、「人・もの・こと」と主体的にかかわる、豊かな体験や経験によって磨かれていきます。子どもたちの未来のために、子どもの姿を見つめ、家庭のものがたりをより豊かなものにしていきませんか。



掛川市ホームページで全編(101話)ダウンロードできます！

[http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/life/bamen\\_kyoiku/index.html](http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/life/bamen_kyoiku/index.html)

### ～かけがわ学力向上ものがたり 第4章～

## 家庭の101話ものがたり

概要版



掛川市教育委員会

掛川市では、市民総ぐるみの教育をさらに発展させ、「かけがわ学力向上ものがたり」の家庭における取組、「家庭の101話ものがたり」を作成しました。みなさんの御家庭でのエピソードが、「子どものことで悩んでいる方」「新たに小学校や中学校に入学する方」などの家庭教育のヒントになれば幸いです。

### 「かけがわの子どもたち」

10月に配付した「かけがわの子どもたち」では、各家庭において、子どもの生活習慣や学習習慣をよりよいものにする「家庭実践項目」を視点に、「家庭のものがたり」の実践をお願いしました。

#### 【家庭実践項目】

- ① お茶の間で家族と団らんしましょう。
- ② 生活のリズムを整えましょう。
- ③ 学習習慣を身に付けましょう。
- ④ 約束やきまりを守って生活しましょう。
- ⑤ 本や新聞等を読む時間を増やしましょう。

### episode 1

## お茶の間団らんものがたり



### 「3人娘とのコミュニケーション」

我が家の3人娘は良くしゃべります。帰宅するなり、今日の出来事を我先にと、3人一斉に話を始めます。主語はないし、言葉も足りないのので何を言っているのかわからない時もあります。とりあえず最後まで聞くことが私の日課となっています。おかげで、学校での娘たちの生活の様子がなんとなくわかっていくつもりです。

3人がそれぞれ話したいことが違うので、誰かが途中で割り込んで話すようなものなら、すぐにケンカとなってしまいます。それが賑やかなこと。

でも、これが我が家のコミュニケーションの1つであり、娘たちの心と体の成長を感じさせてくれる大切なふれあいと感じています。これからもほほえましく見守りながら、時にはケンカの仲裁に入ったり、叱ってみたり…。この温かく、最高の時間を楽しんでいきたいです。





## episode 2

### 生活のリズムものがたり



#### 「我が家の朝食」

「朝ご飯はしっかり食べる」というのが我が家のモットーで、毎朝、ご飯に味噌汁におかずというような食事を用意していました。しかし、子どもたちからは「朝ご飯からこんなに食べられない」「今日はこういう気分じゃない」との声が。そこで、子どもたちに何を食べるかを曜日別に決めてもらい（月曜日：パン、火曜日：めん、水曜日：おにぎり、木曜日：パン、金曜日：そうすい）内容については私にお任せとしました。パンの日は食パンでピザ風にしたり、めんの日には温かいうどんにしたり、時にはスープや果物を添えたりして、少しは工夫しています。栄養バランスも大切だけど、何も食べないよりは、何かを食べていく方が大切だと思うので、気楽に考えて朝食を用意しています。



## episode 3

### 学習習慣ものがたり



#### 「我が家の家庭学習」

私には、6年生の息子がいます。学校と野球少年団との文武両道を目標に、小学校2年生から一緒に頑張ってきました。一番心がけていたことは、一人で頑張らせるのではなく、一緒に悩み考え、前に進むことでした。低学年の頃は、本読みの宿題を一文ずつ交互に読んでみました。すると苦手な本読みも楽しいコミュニケーションの時間へと変化していきました。高学年になると、各教科の問題が高度になり、私自身すぐに答えを出せなくなりました。そんなときは、教科書やインターネットを照らし合わせて必死に答えを導きました。今では逆に息子が得意気に問題を出してきます。その繰り返しがコミュニケーションUP、学力UPにつながっていくのだと感じています。共に学んだことで、自然と家庭学習の基礎が身に付きました。中学に向かい少しずつ息子との距離はできていると思いますが、口だけで頑張らせる母ではなく共に学べる母であり続けたいと思っています。



## episode 4

### 約束やきまりのものがたり



#### 「家族のきまり」

わたしたち家族のきまりは、あいさつと会話をする事です。

仕事の都合で、1週間家族全員がそろわない時があります。そのため、家族で過ごせるときは、あいさつから始まり、できるだけ会話をするようにしています。一時は子どもも自分の部屋に閉じこもりがちだったのですが（年頃もあると思うのですが…）、普段から小さなことでも話しかけることを心がけるようにしたら、家族の団らんも以前より増えたように思えます。



## episode 5

### 本や新聞のものがたり



#### 「文字に親しむ環境作り」

本や新聞に興味を持ってもらえるよう、子どもの目に付くところにそれらを置くようにしてきました。おかげで自分から進んで本を読んだり、新聞記事を読むことが自然と習慣化されたと思います。本を読んだり新聞を読んだりしていると、周りの様々なことに対して深く考えられるようになり、自分の意見として自信を持って他の人に伝えることができるようになるので、あらためて文字を意識して読むことは素晴らしいことだなと感じました。

ただ、子どもなので、大人のように上手いいかない場合もあります。わからない事に対しては（昔ながらのやり方ですが）辞書や図鑑等を使って、なるべく自分の力で調べさせていますが、親に直接聞いてきたときには、こちらも子どもと同じ目線で辞書やパソコンを使って調べ、答えるように努力はしています（少々大変ですが…）。でも、そうする事で、親も知識を深めることができ、親子の信頼関係もしっかりしてくるので、まさに一石二鳥だなと思います。大変だと感じることも面倒だと思わずに、丁寧に子どもと関わりたいと思います。

